Roland

CUBE MONITOR
CM-30

取扱説明書

このたびは、ローランド・キューブ・モニター CM-30 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に

- 安全上のご注意（P.2 ～ 4）
- 使用上のご注意（P.5）をよくお読みください。

また、この機器の優れた機能を十分にご理解いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

この機器は、保護回路を内蔵しています。周囲の温度が高い場所で長時間過大入力を続けると、保護回路が作動し安全性を確保します。保護回路が作動すると、使用中に音が途切れることがあります。取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

主な特長

- 小型・軽量ながら出力 30W の可搬性に優れた楽器用モニター・アンプです。
- 防磁設計された新開発 16cm同軸2ウェイ・スピーカーには剛性の高いチタン蒸着 PP（ポリプロピレン）インジェクション・コーンを採用し、歪みのないクリアな音質を実現しています。
- XLR タイプに対応したマイク／ライン・チャンネルのほか、ステレオ・チャンネル× 2、RCA ピン／ステレオ・ミニ・ジャック両方に対応した AUX IN × 2 など計 5 系統の入力が可能。それらを本体内部で完全ステレオ・ミキシング可能なミキサー機能を装備しています。
- ステレオ・リンク機能（P.10）の装備により、CM-30 を 2 台使用したステレオ再生が簡単に行えます。また、ステレオ・リンク時には、最大 10 系統の入力が可能になります。
- スピーカーの音質補正に便利な、2 バンド・イコライザーを装備しています。
- スピーカーの出音と独立して使用できるステレオ対応のヘッドホン端子を装備しています。
- 可搬性を考慮したキャビネット構成。スピーカーを保護するメタル・グリル・カバー、キャビネットにはコーナー・プロテクターを装着、さらに持ち運びに便利なグリップ・タイプのハンドルをも装備しています。
- マイク・スタンドに直接取り付けることができます。小規模 PA や効果的なモニターに便利です。

安全上のご注意

マークについて　この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

注意
感電の恐れがあります。
キャビネットをあけないでください。

注意：　感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店またはローランド・サービスに依頼してください。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

● この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

● この機器を分解したり、改造したりしないでください。

● 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

⚠警告

● 次のような場所での使用や保存はしないでください。
- ○ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ○ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ○ 雨に濡れる場所
- ○ ホコリの多い場所
- ○ 振動の多い場所

● 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

● 電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

⚠警告

● 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

● この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

● この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

● 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。

○ 電源コードやプラグが破損したとき
○ 煙が出たり、異臭がしたとき
○ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
○ 機器が（雨などで）濡れたとき
○ 機器に異常や故障が生じたとき

● お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

● この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

● 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

⚠警告

● 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

● 本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠ 注意

- この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

- 電源コードを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

- 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

- お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください（P.9）。

- 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

- 本体背面は高温になりますので、やけどしないよう注意してください。

使用上のご注意

2～4 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。
- 電源スイッチを切った後、本機上の LED は消えますが、これは主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。また、至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

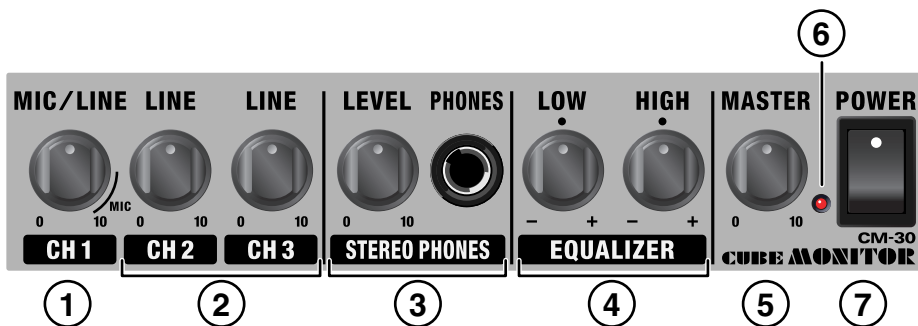
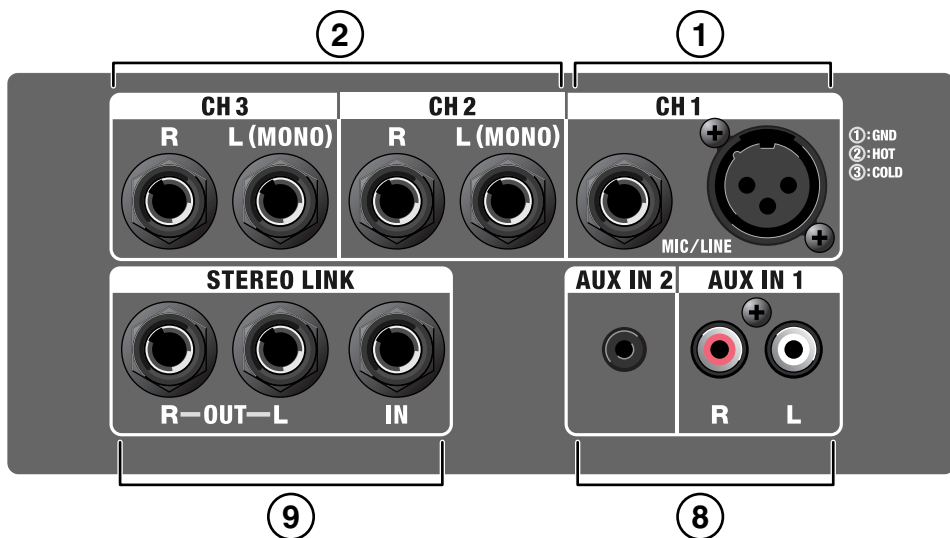
修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、スイッチ、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合、各市町村のゴミの分別基準に従って行ってください。
- 接続には、当社ケーブル（PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意ください。
  - ○ 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

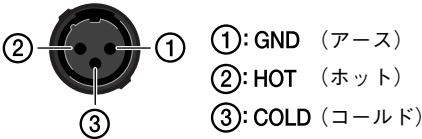
各部の名称と働き

■ コントロール部

■ ジャック・パネル

1. CH 1 つまみ／CH 1 インプット・ジャック

CH1 は標準ジャックと、マイク接続に便利なバランス対応の XLR コネクターを装備しています。

マイク入力レベル（-50 dBu）から音源モジュールなどのライン入力レベル（-20 dBu）までに対応しています。

※ XLR コネクターのピン配置は次のようになっています。接続するときは、接続機器のピン配置を確認のうえ、接続してください

①: GND （アース）
②: HOT （ホット）
③: COLD（コールド）

2. CH 2、CH 3 つまみ／ CH 2、CH 3 インプット・ジャック

キーボード、音源モジュールなどの機器を接続します。

ステレオ接続ができます。

L 側接続でモノ入力になります。

ステレオ接続時には、ヘッドホンでのモニターやステレオ・リンク時のステレオ再生が可能になります。

入力レベルはライン（-20dBu）に対応しています。

3. STEREO PHONES

ヘッドホンはステレオ再生に対応しています。

LEVEL つまみ
ヘッドホンの音量を調節します。

PHONES ジャック
ヘッドホンを接続します。

※ ヘッドホンを接続するときや抜くときは、必ず LEVEL つまみを 0 にしてください。

4. EQUALIZER

LOW つまみ
低音域の音量を調節します。

HIGH つまみ
高音域の音量を調節します。

5. MASTER つまみ

本体スピーカーから出力される全体の音量を調節します。

6. パワー・インジケーター

電源をオンにすると点灯します。

7. POWER スイッチ

電源をオン／オフします。

※ 電源スイッチをオン ／オフするときは、必ず MASTER つまみを 0 にしてください。

※ この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。
電源をオンするときにスピーカーから音がすることがありますが故障ではありません。

※ 他の機器を接続しているときの電源オン／オフの手順については、P.9 をご覧ください。

8. AUX IN 1、2 ジャック

AUX IN 1 は、RCA ピン・タイプの入力端子です。AUX IN 2 はステレオ対応のミニの入力端子です。

CD プレーヤー、MD プレーヤーなどの機器を接続し、CH 1 ～ CH 3 に入力した機器と同時に鳴らすことができます。

入力レベルは AUX IN1、2 とも -10 dBu に対応しています。

※ AUX IN ジャックに入力した機器の音量調節は接続機器側で行ってください。

9. STEREO LINK

2 台の CM-30 を 1 本または 2 本のオーディオ・ケーブル（標準タイプ）で接続することにより、簡単にステレオ再生が可能になります。

※ ステレオ・リンクの接続方法は、「CM-30 を 2 台使ってステレオ再生する（ステレオ・リンク）」（P.10）をご覧ください。

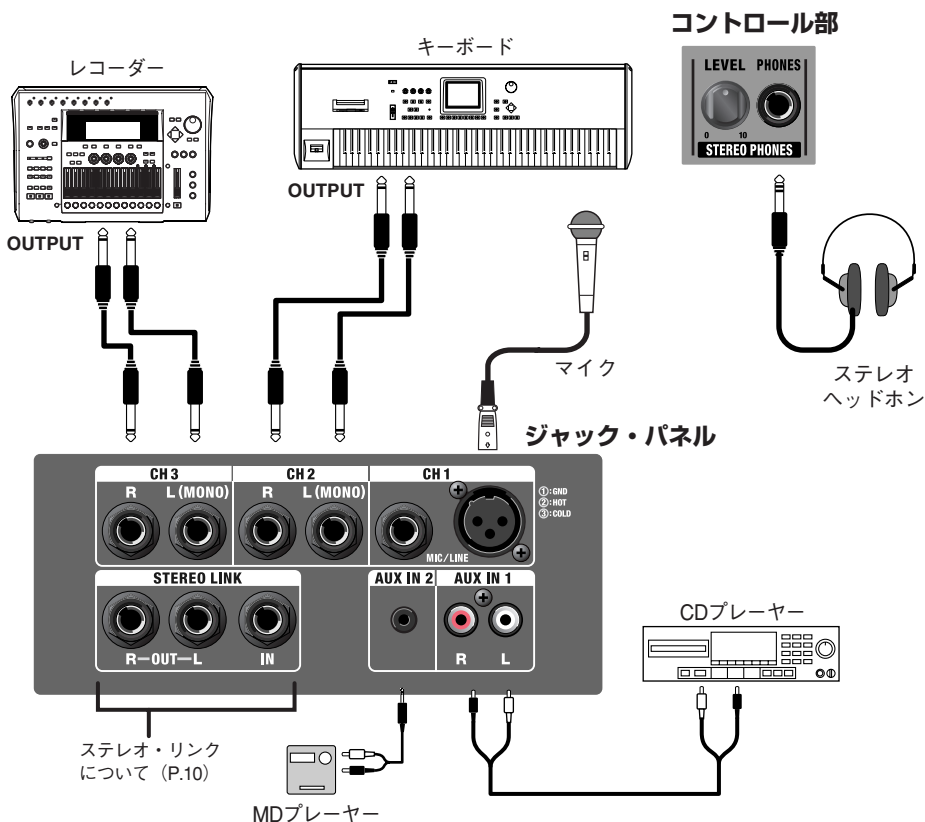
STEREO LINK の出力レベルは -10 dBu、入力レベルは -10 dBu に対応しています。

10. AC IN ジャック

付属の電源コードを接続します。

※ 電源コードは必ず付属のものを使用してください。

接続のしかた

以下の図を参考に、CM-30 とその他の機器を接続します。

CM-30 のミキサー機能を駆使した接続例です。マイクは、マイク入力レベル対応の CH1 に入力します。キーボードやレコーダーなどステレオ仕様の音源機器は、CH 2、CH 3 または、AUX IN 1、2 に入力します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。
CM-30 は、チャンネルつまみおよび MASTER つまみを 0 にしてください。

※ マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音（キーンという音）が出ることがあります。その場合は、以下のように対処してください。
1. マイクの向きを変える
2. マイクをスピーカーから遠ざける
3. 音量を下げる

※ 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、インプット（CH 1～CH 3、AUX IN 1、2）に接続した機器の音量が小さくなることがあります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。

電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

1. CM-30 および各接続機器の音量つまみがすべて 0 になっていることを確認します。

2. CM-30 のインプット（CH 1 ～ CH 3、AUX IN 1、2）に接続されている機器の電源を入れます。

3. CM-30 の電源を入れます。

4. 各機器の音量を調節します。

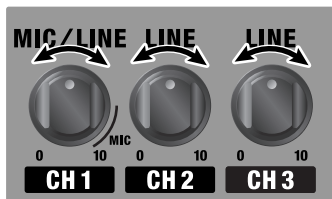
5. 電源を切るときは、各機器の音量を絞ってから、電源を入れるときと逆の手順で電源を切ります。

※ この機器は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。また急に大音量が出ることを防ぐため、必ず音量を絞ってから電源をオンにしてください。

※ 電源をオンにするときにスピーカーから音がすることがありますが故障ではありません。

音量設定について

CM-30 を最も良い音で演奏するために、音量設定を以下のように行います。

1. CH 1 ～ CH 3 のボリュームつまみを操作して、CH 1 ～ CH 3 の音量を調節します。

このとき、CH 1 ～ CH 3 の音量バランスを調節します。

※ AUX IN 1、2 ジャックに入力した機器の音量調節は、接続した機器側で行ってください。

2. LOW つまみ、HIGH つまみを操作して、好みの音質に調節します。

3. MASTER つまみを操作して、全体の音量を調整します。

※ 音が歪むときは、CH 1 ～CH 3 つまみ、MASTER つまみ、または、インプット（CH 1 ～ CH 3、AUX IN 1、2）に接続している機器の音量つまみを調整してください。

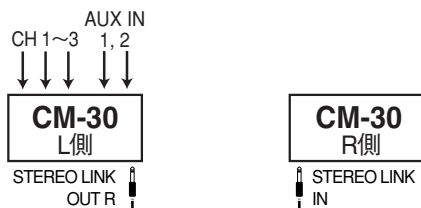
CM-30を2台使ってステレオ再生する（ステレオ・リンク）

2台のCM-30を1本または2本のオーディオケーブル（標準タイプ）で接続することにより簡単にステレオ再生ができます。この機能を「ステレオ・リンク」と呼びます。

CM-30のミキサー機能はステレオ仕様になっているため、STEREO LINK OUT端子からLまたは、Rの信号を出力させることができます。そのため接続のしかたで次のようなステレオ再生が可能になります。

- 基本的（5系統入力）なステレオ再生（接続例1）
- 2台のCM-30のミキサー機能を最大限（10系統入力）に生かしたステレオ再生（接続例2）

接続例1

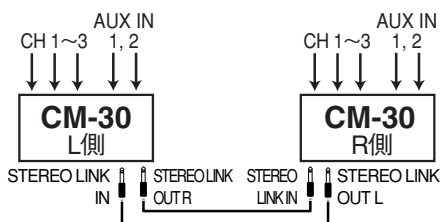
最大5系統の入力機器が接続可能です。

手順

1. L側のCM-30に入力機器を接続します。
2. L側のSTEREO LINK OUT RジャックとR側のSTEREO LINK INジャックを接続します。
3. L側とR側のCM-30の電源を入れます。
4. 各機器の音量を調整します。
5. L側とR側の音量をそれぞれのMASTERつまみで調整します。

R側のCM-30に入力機器を接続する場合

接続例1と同様の手順でR側のSTEREO LINK OUT LジャックとL側のSTEREO LINK INジャックを接続します。

接続例2

最大10系統の入力機器が接続可能です。

手順

1. L側とR側それぞれのCM-30に入力機器を接続します。
2. L側のSTEREO LINK OUT RジャックとR側のSTEREO LINK INジャックを接続します。
3. R側のSTEREO LINK OUT LジャックとL側のSTEREO LINK INジャックを接続します。
4. L側とR側のCM-30の電源を入れます。
5. 各機器の音量を調整します。
6. L側とR側の音量をそれぞれのMASTERつまみで調整します。

■ 音量／音質調節の仕方

L側とR側の音量はそれぞれのMASTERつまみで調整します。

イコライザー（LOW、HIGHつまみ）もL側とR側で個別に設定することができます。

通常はL／R側共に同じ位置でお使いいただき、設置環境などによって調整が必要なときに、個別に調整してください。

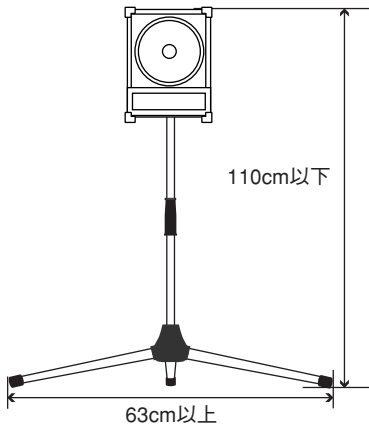
※ STEREO PHONESは、L／R側本体に接続されている機器のみをステレオ再生します。

マイク・スタンドのご使用について

CM-30は、マイク・スタンドと組み合わせて使用できるように設計されているため、マイク・スタンドを使用することにより、モニターや簡易PAとして最適な高さに設置することができます。

マイク・スタンド・ホルダーの穴径は、3/8インチです。

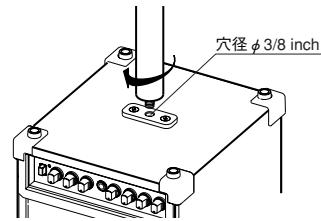
マイク・スタンドの使用条件

- 下図のように、高さ110cm以下（CM-30含む）、マイクスタンドの三脚を最大幅（63cm以上）に開いてから使用してください。

- マイク・スタンドを高さ110 cm以上（CM-30含む）にしたり三脚が最大幅に開かれていないと、転倒による傷害や機器の破損などの原因になります。
- マイク・スタンドを使用してCM-30を設置するときには、ぐらついたところや傾いたところに設置しないでください。必ず安定した水平なところに設置してください。
- CM-30に接続したケーブル類は、つまづきなどによる事故のないよう、十分な余裕を持って配置してください。
- 落下による事故を防ぐため、マイク・スタンドに取り付けたCM-30の上には物を載せないでください。
- CM-30をマイク・スタンドに取り付け後、ぐらつきのないことを確認してから使用してください。

マイク・スタンドへの取り付け

CM-30をマイク・スタンドに取り付けたり、CM-30を取り付けたままマイク・スタンドの高さを調節するときは、必ず2人以上で作業してください。

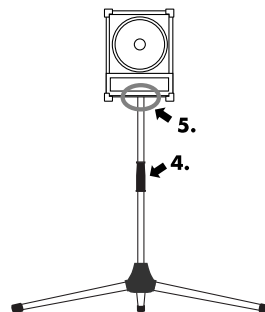
1. 図のようにCM-30を逆さまに床置きし、マイク・スタンドを回しながらCM-30のマイク・スタンド・ホルダーへしっかり取り付けます。

※ 本体を逆さまにするときは、本体を傷つけないように、新聞や雑誌などを重ねて本体の四隅や両端に敷いてください。

2. 三脚を最大幅になるまで開きます。

三脚の開き角度が狭いと安定性が悪くなります。

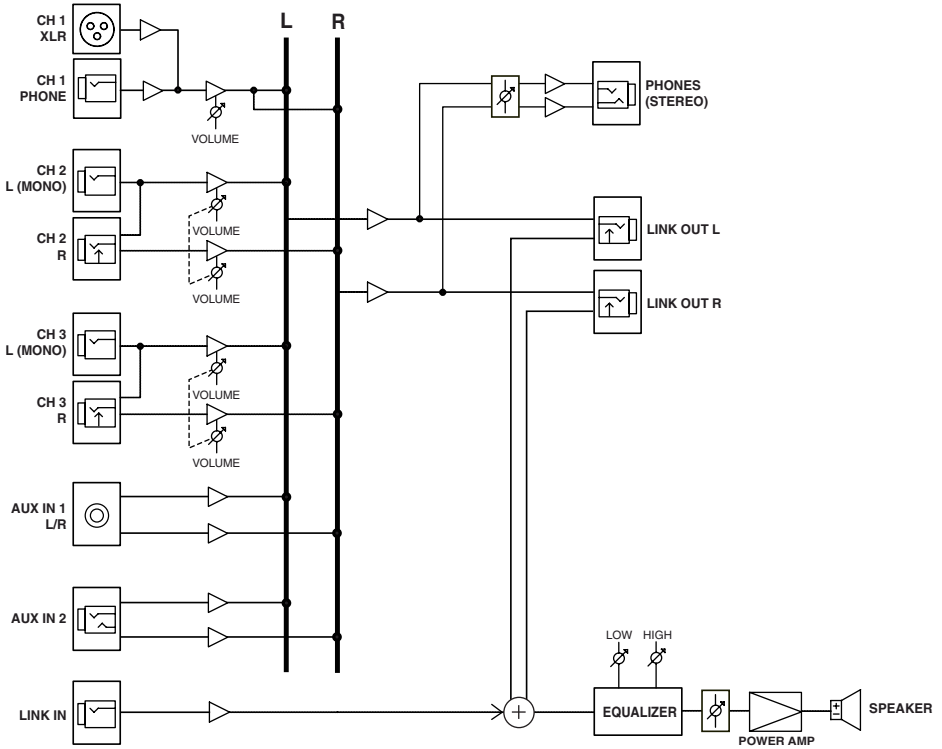
3. CM-30とマイク・スタンドを持ってスタンドを床に立てます。

4. マイク・スタンドの高さが110 cm以下（CM-30含む）で希望の高さになるように、マイク・スタンドの高さを調節します。

5. CM-30が左右に動かないようにマイク・スタンドの締め付け金具でしっかり取り付けてください。

※ 取り付けるとき、指をはさまないようにご注意ください。

資料

ブロック図

CH 1
XLR
CH 1
PHONE
VOLUME
CH 2
L (MONO)
CH 2
R
VOLUME
VOLUME
CH 3
L (MONO)
CH 3
R
VOLUME
VOLUME
AUX IN 1
L/R
AUX IN 2
LINK IN
L
R
PHONES
(STEREO)
LINK OUT L
LINK OUT R
LOW
HIGH
EQUALIZER
POWER AMP
SPEAKER

主な仕様

●定格出力

30 W

●規定入力レベル（1kHz）

チャンネル 1（マイク／ライン）：-50～ -20 dBu
チャンネル 2、3（ライン）：-20 dBu
AUX IN 1 、2：-10 dBu
ステレオ・リンク・インプット：-10 dBu

●規定出力レベル

ステレオ・リンク・アウト L ／ R：-10dBu

※　0dBu = 0.775 Vrms

●スピーカー

16 cm + ツイーター（コアキシャル 2 ウェイ）

●コントロール

チャンネル 1（マイク／ライン）
ボリュームつまみ
チャンネル 2、3（ライン）
ボリュームつまみ
ヘッドホン・レベルつまみ
イコライザー：ローつまみ、ハイつまみ
マスターつまみ
電源スイッチ

●インジケーター

パワー

●接続端子

チャンネル 1 インプット・ジャック
（XLR タイプ、標準タイプ）
チャンネル 2、3 インプット ジャック L（モノ）
（標準タイプ）
チャンネル 2、3 インプット・ジャック R
（標準タイプ）
AUX IN 1 L、R ジャック（RCA ピン・タイプ）
AUX IN 2 ジャック（ステレオ・ミニ・ジャック）
ステレオ・リンク・アウト・ジャック L、R
（標準タイプ）
ステレオ・リンク・イン・ジャック（標準タイプ）
ヘッドホン・ジャック（ステレオ標準タイプ）

●電源

AC100V（50 ／ 60 Hz）

●消費電力

32 W

●外形寸法

214（W）× 238（D）× 275（H）mm

※　マイク・スタンド・ホルダー穴径：3/8 inch

●質量

5.6 kg

●付属品

取扱説明書
電源コード
保証書
ローランド ユーザー登録カード

※　製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

CUBE MONITOR CM-30

お問い合わせの窓口

● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター　050-3101-2555

> 電話受付時間：　月曜日～土曜日　10:00～17:30（年末年始を除く）
>
> ※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。
>
> ※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ　http://www.roland.co.jp/

'07. 10. 01 現在（Roland）